

語り合おう！ 気候変動下の 今年の作柄を振り返って 2025

今年も酷暑や豪雨災害が続きましたが、農作物はどのような状態でしたか。有機の田んぼにはムシヒキアブが飛来してイネカメムシを食していたという報告もありました（<https://www.jacom.or.jp/kome/news/2025/10/251015-85081.php>）。気候変動に有機農業で対応していくには、今の気候変動にみずから耐えている作物自体のタネを自前で採っていくという農業の基本に立ち戻ることがレジリエンス（回復力、適応力）を発揮させるヒントになる可能性もあります。それぞれの報告では、種採りについても披露していただくことにしています。今年も、各地各様の作柄を振り返り、対策や工夫、技術的対応などについて語り合いましょう。

日時 2025 年 11 月 28 日（金）19:30～21:30

■オンライン会議 ■参加費 無料（寄付歓迎）■どなたでも参加できます

- ・報告（松澤政満、林 重孝、菊池達弥、舘野廣幸ほか）
- ・参加者による交流

■申込み 申込みフォーム URL または QR
コードからお申し込みください。

<https://forms.gle/eCeGdGirAgRn8Hhr9>



NP0 法人 日本有機農業研究会

電話 03-6265-0148 Fax 03-6265-0149

メール info@1971joaa.org <https://www.1971joaa.org>